



研究員 江崎智絵

2010年5月31日未明、イスラエル軍の部隊がガザに向け航行中の国際支援船団に乗り込み、乗務員の活動家らと衝突する事件が発生した。公式発表がないため、実態は不明であるが、報道によればトルコ人を含む少なくとも10名の活動家が死亡した模様(19名が死亡し、その内名がトルコ人との報道もあり)。また、イスラエル軍の兵士5名も負傷した。

イスラエル軍は、6隻からなる同支援船団を拿捕してイスラエル中部のアシュドッドまたはハイファに曳航した。負傷者はイスラエル国内の病院に搬送された。6月1日、イスラエル軍のラジオ放送は、同国が活動家480名を拘束し、うち48名が国外追放処分を受けるようだと報じた。

国際支援船団には、トルコのイスラム慈善団体 IHH 職員やホロコーストの生存者らを含む600~700名のパレスチナ支援活動家が参加。彼らは、3年に及ぶ経済封鎖下のガザ住民に1万トンの支援物資を届けるべく、5月30日にキプロスを出発していた。

イスラエル側は、5月26日、ガザに向かう国際支援船団を追い返す構えを示していた。また、首相報道官によれば、イスラエルは、支援船団に対して、アシュドッドに人道支援物資を下ろせばガザ住民にしかるべく運搬するとの申し出を繰り返し行っていた。アヤロン副外相は、事件発生当日の午前中に開かれた記者会見で、支援船団がイスラエル側の平和裡な誘導に応じず、暴力的な意図と手段を有していたと述べた。また、同副外相は、支援船団がグローバル・ジハードのアルカーイダやハマースと関係しているとの見方も示した。

事件発生を受け、カナダ訪問中のネタニヤフ首相は、滞在日程を切り上げ、帰国の途に着いた。同首相は報道官を通じて、今次事件でのイスラエル軍の攻撃を全面的に支持する姿勢を示した。また、ネタニヤフ首相は、滞在先のカナダからオバマ米大統領に電話し、6月1

日に予定されていた会談に出席できない事情を説明した。オバマ大統領は、状況に理解を示す一方、一刻も早い事態の究明を求めた。

一方、南米諸国を歴訪中のトルコのエルドアン首相は、チリ訪問予定を取り止め、トルコに帰国することになった。同首相は、チリを発つ前の記者会見で、イスラエルによる支援船団への攻撃を「国際法に違反する非人道的な国家テロ」とみなし、強く非難した。また、首相の南米訪問に同行していたダーヴトオール外相は、訪米しイラン核開発問題に関するブラジルとの3カ国合意について説明する予定を変更し、国連安保理の緊急会合に出席するためニューヨークに向かった。事件の発生を受け、トルコ政府は、イスラエルに対して事件の説明を求めると共に、駐イスラエル・トルコ大使を召喚し、国連安保理に緊急会合の開催を要請した。イスラエルとの間で予定されていた共同軍事演習も停止された。

パレスチナのアッバース大統領は、イスラエルによるガザ国際支援船団の攻撃を「虐殺」と非難し、ファタハ及びハマースに抗議行動を呼びかけた。また、同大統領は、同日午後PL0 執行委員会及びファタハ中央委員会の会合を開催するとした。ガザのハマースも事件発生を非難し、自治政府に対してイスラエルとの直接／間接交渉の実施を停止するよう求めた。報道によれば、現時点でアッバース大統領は、イスラエルとの間接交渉を停止する意思はないとのこと。

#### 【ガザ地区に対する経済封鎖及び支援物資の搬入をめぐる動き】

2010-01-05 ガザ地区に支援物資を搬入しようとする活動家とエジプト警察との間で衝突が発生、55名が負傷した。支援物資は、英国のGeorge Galloway 議員が率いる一行が用意したもの。一行は、イスラエルを経由して支援物資を届けるとのエジプトの決定に対抗するため、エル・アリーシュとガザ地区との境界にある通行所の門を突破しようとした。

2010-01-08 エジプトは、ガザへ支援物資を届けようとする活動家団体 Viva Palestina の護衛がエジプト警官隊と衝突した事件を受け、英国のGeorge Galloway 議員がペルソナ・ノン・グラータであると英国外務省に通報した。英国側は、同議員が今後エジプトと項を許可されないであろうとの声明を出した。

2010-01-17 欧州議員団は、エジプトを訪問、アブゲイト外相と会談し、ラファハでの地下トンネルや人道的要因などを協議した。同議員団はガザを訪問、ハニーヤ元首相らと会談している。

2010-01-20 AFP は、オランダの協力で、ガザの花やイチゴの欧州への輸出が再開するかもしれないと報道。

2010-03-01 AP は、イスラエル軍の海上封鎖強化の結果、ガザ住民が漁に出られず、ガザは魚を輸入する事態になっていると報道。エジプト側のラファハから小船で魚を運ぶか、陸路で魚を購入して販売している。漁業を生業とするガザ住民は約3600人。イスラエル軍は海岸から5.5キロ以上出ることを禁止しているが、これまでに違反した漁民5人が殺害され、約20人が負傷、数十人が逮捕された。

2010-04-03 英国のエコノミスト誌は、ガザの経済封鎖の記事で、イスラエルが公式に輸送を認めている品目は73であるが、店には4000種類が売られていると報道。セメントは、2年前に一袋80ドルだったが現在は10分の1になった。ガソリンなどは西岸より安いとした。

2010-04-04 イスラエルは、2008年夏以来となるガザ地区への衣料品などの商業物資の搬入を許可

した。

2010-04-11      ガザで唯一稼働中の発電所は、9日から2日間発電を停止していたが、同日発電を再開。ガザの通電は、1日12時間から8時間になっている。3月3日から発電が低下した。イスラエル側は、PAとハマースの間の燃料代金分担でハマース側の支払いが遅れたことが原因だとした。さらに、イスラエル側の祭日で燃料の供給が減少していた。ガザの電力の70%をイスラエルが、5%をエジプトが供給している。25%がガザでの発電。

2010-05-22      UNDP は、イスラエルによるガザへの経済封鎖のため、イスラエルによるガザ攻撃後の修復作業用資材が欠如しており、ほとんどの修復作業がエジプトから密輸された資材を用いて行われているとの報告書を発表した。

---

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799